

平成26年度 鶴岡市バイオクラスターに向けた取り組み

目的

慶應義塾大学先端生命科学研究所を始めとしたバイオテクノロジーに関する地域ポテンシャルを活かし、高度な研究開発機能の集積、ベンチャー企業などの創出、既存産業の高度化などの産業振興、時代が要請する人材育成など、品格ある都市“生命科学のメッカ”を目指す地域の発展戦略の基盤を形成する各種事業を実施する。

事業内容

□地域産業に活かす

- (1) バイオ産業推進室の設置
 - 産業化プロデューサー1名の配置
- (2) 地元企業等との共同研究の促進
 - 鶴岡漢方プロジェクト
 - 慶大鶴岡藻類コレクションを用いた化粧品原料開発プロジェクト
- (3) 地元企業高度化・新産業開拓事業の展開
 - 鶴岡メディカルビジネスネット

H24鶴岡漢方PJ 試験栽培開始



H25鶴岡メディカルビジネスネット 活動の状況

□健康長寿に活かす

- (1) 鶴岡みらい健康調査の協同実施（先端研・医療関係機関・市）
 - 推進会議の開催
 - 推進セミナーの開催
 - 地域報告会の開催
 - 健康政策へ活かすための情報収集



H24鶴岡みらい健康調査 スタート



鶴岡みらい健康調査セミナー

慶應先端研が持つ
研究成果・
教育機能を

□バイオ戦略の構築

- (1) バイオ戦略懇談会
- (2) 国家戦略特区提案

□ベンチャー企業の創出・育成に活かす

- (1) ベンチャー企業創出・育成促進
- (2) 既存ベンチャー企業の事業拡大を目的とした諸調整
- (3) サイエンスパーク構想の新たな構築
- (4) 合成クモ糸繊維を核とした産業戦略展開

H25.11月に稼働を開始したスパイバー社と小島プレス工業社が共同で建設した試作研究棟



□人材育成、啓蒙・啓発に活かす

- (1) 第4回高校生バイオサミットin鶴岡開催事業
- (2) 鶴岡バイオクラスター推進シンポジウム開催事業



H25高校生バイオサミット 全国から約100名の高校生・指導教諭が鶴岡市に集結



平成26年度 鶴岡市バイオクラスター形成に向けた取り組み

※H25実績含む

1. 鶴岡バイオクラスター形成プロジェクト事業

(1) バイオ産業の推進

【体制】

① バイオ産業推進室の設置

i. 産業化プロデューサーの配置

市政策推進課、県コーディネーター及び慶應先端研産学官連携コーディネーターとの連携を図りながら、各種事業を展開する（1名）。

【事業】

② 産業誘導・産業形成促進・共同研究創出

i. 事業シーズ探索活動

山形県バイオクラスター形成推進会議等の議論を踏まえ、新たな視点から、より具体的な事業シーズを探索する諸活動を行う。

ii. 産学官研究交流推進事業 ※県・庄内地域産業振興センター協同事業

バイオ分野における産学官連携の取り組みを全県的なものとし、バイオ研究シーズを活用した新たな共同研究プロジェクトの推進を目的として、山形県と庄内地域産業振興センターと協同し、研究者等の研究交流会、研究成果発表や連絡会議等を開催する。

※H24からの継続事業

iii. 市先端研究産業支援センターへの誘致活動・情報収集

市先端研究産業支援センター拡張棟への誘致活動を行うとともに、バイオ産業化に資する最新情報収集活動を行う。

iv. サイエンスパーク構想の新たな構築

サイエンスパークエリアにバイオ関連企業や研究開発機関等の集積を戦略的に進めるため、バイオベンチャー企業の動向を的確に捉えるとともに、国の事業等を活用した開発手法の可能性の研究をはじめ、関係機関や有識者などから情報収集や意見聴取を行い、市として中長期的な計画を策定する。

v. 合成クモ系繊維を核とした産業戦略

スパイバー社が量産化の基本技術を確認した合成クモ系繊維の各事業分野への応用がサイエンスパークエリアで展開されるよう、地元企業との連携や県内外の関連企業の誘致、必要な環境整備などを戦略的に展開していく。

③ 地元企業等との共同研究の促進

i. 「鶴岡漢方プロジェクト」

漢方生薬の産地化に向け、試験栽培を中心とした諸事業に取り組み、漢方生薬栽培方法の知見獲得を目指す。

※H25実績 生薬試験栽培、栽培検討会議の開催など

ii. 「慶大鶴岡藻類コレクションを用いた化粧品原料開発プロジェクト」

慶應先端研で選定を行った化粧品原料を採取するのに優良な微細藻から、脂質・機能性成分の抽出方法の検討、培養方法の検討、有効性評価等を行う。

※H25実績 優良な藻株の選定、有効性評価試験の実施

iii. 共同研究シーズ事業化支援事業 ※県・HMT協同事業

メタボローム解析技術の普及を目的として、県内企業の慶應先端研等との共同研究による新製品・新技術開発等の芽だし及び共同研究成果を活用した具体的な事業化の取り組みを、県とHMTと協同で支援する。

④ 地元企業高度化・新産業開拓事業の展開

i. 「鶴岡メディカルビジネスネット」

地域医療・福祉関係機関と意見交換会を実施し、医療現場従事者が抱える問題や課題を整理し、その解決に資する機器開発に取り組む。

※平成25年度納品実績 オリジナル製品を地元医療・介護施設などへ納品

(2) 市民の健康長寿の推進

市民の健康長寿への取り組みとして、「鶴岡みらい健康調査」を慶應先端研、地域医療関係機関及び市において協同実施する。

①鶴岡みらい健康調査の協同実施

※H25実績 平成24年4月に運用を開始（H26.8.20現在、同意者数8,723名）

i. 推進会議の開催

本調査事業の推進を目的として、関係団体間のオーソライズを図りながら、本調査事業の進捗・運営管理や本調査事業の推進に資する諸案件を検討する「推進会議」を開催する。

※平成25年3月16日に推進会議を設置・開催 平成26年3月8日に開催

ii. 推進セミナーの開催

市民の理解促進及び市民への成果還元を目的として、本研究の概要を紹介するとともに、市で取組む意義やコホート研究が生み出す多様な可能性などについて、市民とともに考えるセミナーを開催する。

※H25実績 平成26年3月9日に第2回セミナーを開催

iii. 地域報告会

市民の理解促進及び成果還元を目的として、各地域における保健事業との連携のもと、市民の健康に資する情報とともに、鶴岡みらい健康調査における活動報告、成果の途中経過報告、協力の呼びかけ等を行う。

2. 第4回高校生バイオサミット in 鶴岡 開催事業

日本の科学の将来を支える新しい人材の育成と、科学技術の振興・発展を目的として、バイオサイエンスに興味・関心を持つ全国の高校生が集い、研究発表とディスカッションを行う高校生バイオサミットを開催する。

- 日時：平成26年8月3～5日
- 会場：庄内いこいの村 ほか

H25実績 平成25年8月第3回サミットを開催（発表数：34作品、参加者数：97名・38校、教職員33名、表彰交付：農林水産大臣賞、環境大臣賞、科学技術振興機構賞、慶應義塾賞、県知事賞、市長賞 ほか）